

第2章. 調査・検討方法等

2.1. 本報告書における調査等の流れ

高濃度汚染対策に係る調査は、図2.1.1に示すフローで実施した。

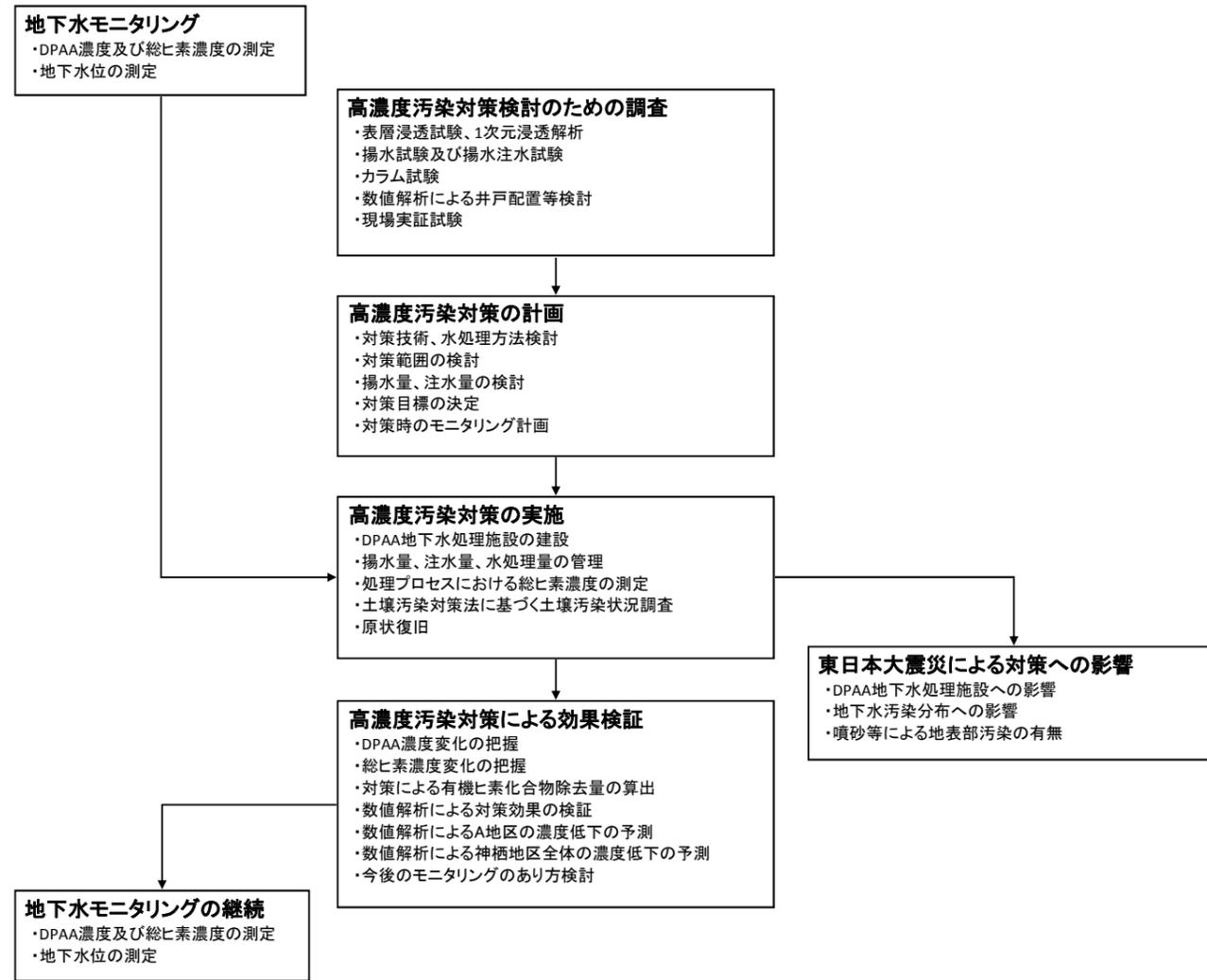


図2.1.1 高濃度汚染対策に係る調査フロー

2.2. 検討体制

2.2.1. 検討員

高濃度汚染対策は、環境省が設置した「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会」の検討員（表2.2.1）の指導、助言の下で実施した。

表2.2.1 国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会検討員

氏名	所属
◎ 森田 昌敏	愛媛大学農学部 客員教授
岡田 光正	放送大学 教授
佐藤 源之	東北大学東北アジア研究センター 教授
高橋 謙	産業医科大学 環境疫学研究室 教授
田中 勝	鳥取環境大学 サステイナビリティ研究所長 環境マネジメント学科 特任教授
新美 育文	明治大学法学部 教授
箱崎 幸也	自衛隊中央病院 第1内科部長
花岡 成行	内閣府大臣官房遺棄化学兵器処理担当室 遺棄化学兵器処理事業 参与
平田 健正	和歌山大学 理事
山里 洋介	前陸上自衛隊化学学校 校長
横山 尚秀	神奈川県自然環境保全センター 非常勤研究員
横山 裕道	淑徳大学 国際コミュニケーション学部 客員教授

◎：座長

平成24年4月1日現在

2.2.2. その他

高濃度汚染対策の実施は株式会社鴻池組が、高濃度汚染対策の計画等の検討に関する業務は株式会社エイト日本技術開発が行った。